

# おのおの市政

56. 8. 1

No.342

## 仏御前

水の精がはじけ

からだにしみとおり

私は

透明になる

〈山の端を雲が黙って通りすぎる〉

人のおいのしなれ中て

私は

仏御前になった

涼  
さ  
い  
づ  
ぱ  
い

仏御前の滝

## どう受けとめますか、この数字

# 「地元就職したい」は33%

### 来春高卒予定者に進路調査

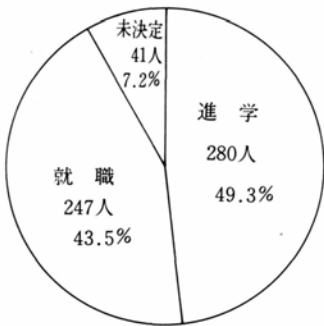


就職の相談をする生徒(大野高校)

市労務対策協議会(松田確太郎会長)はこの程、来春高校卒業予定者を対象にした「進路動態調査」を行いました。この調査は、若者の就職意識を探り、地元定着に有効な対策を講じるための資料とするため、今回初めて実施されたものです。それによりますと、市内に就職したいと答えた人は三二・七%を占めていることや、市外で就職すると答えた人のうち半数近くがUターンの意志を示すなど注目すべき結果がでています。

表① 進学と就職の割合

表② 就職地の選定

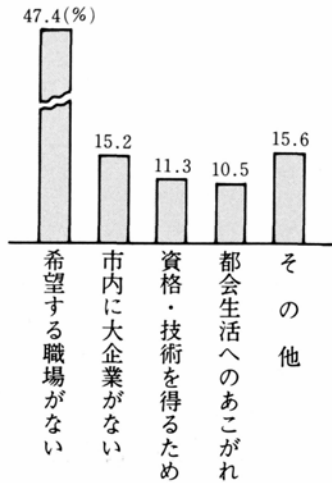
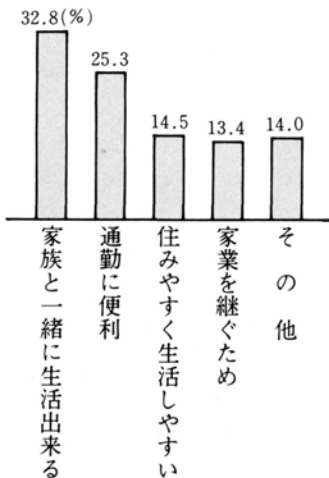


## 回答者は568人 半数が進学希望

アンケート調査の対象は、大野高校・同高定時制・大野工業高校、それに勝山精華高校の大野出身者で、合計592人です。うち568人(回収率95.9%)から回答を得ました。質問は9項目あります。主な内容を紹介しましょう。

表③ 市内を選ぶ理由

表④ 市外を選ぶ理由



まず、就職か進学かという問いでは、表①のとおり「進学する」49.3%「就職する」43.5%となっています。進学希望者の内訳は、4年制大学が最も多く58.9%、短期大学19.3%、専門学校17.9%となっています。

就職地の選定は表②のとおりで、「大野市内に就職したい」と答えた人は約3分の1の32.7%でした。

理由としては「家族と一緒に生活出来る」「通勤に便利だから」「住みやすく、生活がしやすい」などが上位を占めています。特に男子では「家業を継ぐため」と答えた人もかなり見受けられました。

「市外で就職したい」と答えたメ



近代化した市内の繊維産業

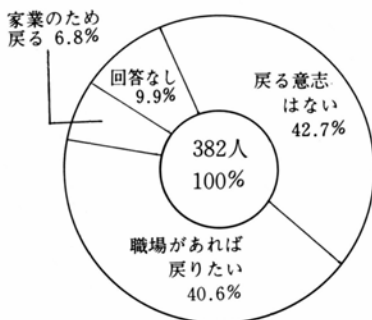
人は67.3%あり、前者の2倍以上です。

その理由では「希望する職場がない」が47.4%と半数近くを占めています。以下「市内に大企業がないから」「特別の資格・技術を得るため」「都会生活へのあこがれ」などとなっています。

### 47.4%がUターンの意志

市外へ出ると答えた人に、Uターンの意志を尋ねたのが表⑤です。戻る意志のない人は42.7%ありますが「適当な職場があれば戻りたい」と答えた人も40.6%あります。「家業を継ぐため、いずれ戻りたい」と答えた人6.8%を加えると、ほぼ半数の47.4%の人がUターンの意志を示し

表⑤ 市内へ戻る意志の有無



## 今春の高卒者の進路

### 大学離れとふるさと志向の傾向

今春、市内の高校を卒業した生徒は589人です。

うち、進学者は247人で、全体の41.9%です。進学率は1昨年が50%、昨年45.8%と、年ごとに減少しており「大学離れ」の現象が見られます。

就職者は330人で、全体の56.0%を占めています。このうち、市内の事業所に就職した人は111人(33.6%)です。

前年に比べて25人(29.1%)増えており「ふるさと志向」の傾向がうかがえます。

たこととなります。

このことから、地元の魅力ある働き場を一層増やすことを切望していると言えます。

#### 人気の業種

男子は公務員

女子はサービス業

どのような職種を選ぶかという問いに対しては、大野工業高校の生徒を中心に「技術的職業」と答えた人が41.7%とトップ。次いで「事務的職業」が29.2%、「販売・サービスの職業」が15.8%となっています。

業種別の意向を示したのが表⑥です。男子では、公務員がトップを占め23.3%あります。以下、電気・機械器具業が15.8%、建設業が13.6%と続きます。

女子では、サービス業が26.1%でトップ。次いで公務員18.9%、卸小

売業8.4%の順になっています。

就職先を選ぶときの要件では、男子は「企業の将来性」「賃金」「就業時間」「福利厚生」の順になっており、女子では、1位と2位が入れ替わっています。全体では「賃金」31.3%、「企業の将来性」27.6%と、この2要件が約6割を占めています。

### もっと雇用の場を

大野市にどんな産業を誘致したらよいかという問いには、観光・レジャーや、自動車・精密機器産業などが挙げられています。

どんな施設が欲しいかという問いに対しては、やはり若者らしくスポーツやレジャー施設を挙げているのが目立ちます。そのほか、公園・遊園地・総合病院・図書館などの建設を望む意見もありました。

大野市が今後さらに発展し、飛躍するためには、若者の市外流出に歯止めをかけて、地元定着の志向をさらに拡大する施策が不可欠です。

協議会と市ではこれらの貴重な調査結果を参考にし、地場産業の振興をはじめ企業誘致などに取り組み雇用の増大と魅力ある産業づくりを推し進めることにしています。

表⑥ 志望する業種 (男女別)

順位	男子		女子	
	業種	%	業種	%
1	公務員	23.3	サービス業	26.1
2	電気・機械器具	15.8	公務員	18.9
3	建設業	13.6	卸小売業	8.4
4	サービス業	9.7	金融・保険業	5.5
5	自動車・整備板金	8.8	縫製業	1.3
6	電力供給業	3.6	電気・機械器具	1.3

# 昭和55年度

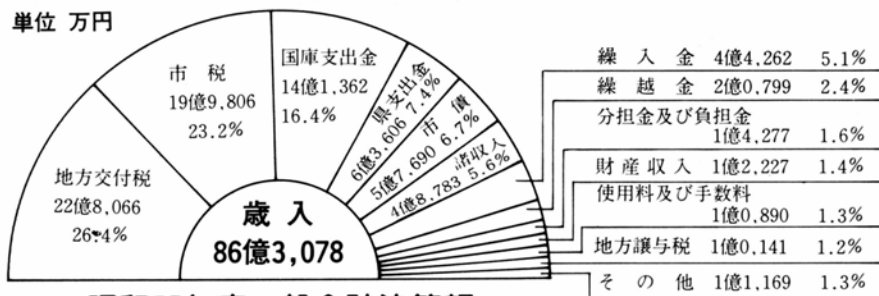
# 市の財政は こうなっています

55年度の市の財政をお知らせします。昨年度は厳しい財政事情でしたが、生活関連施設の整備、市民の生活安定と福祉の充実を重点に施策を進めました。全会計では、約100億円が使われたこととなります。

## 歳入

前年度と比較しますと市税では10.9%、地方交付税は12.0%、国庫支出金は36.8%それぞれ増となっているのが目立ちます。全体では前年度より14億0,685万円多い86億3,078万円となりました。

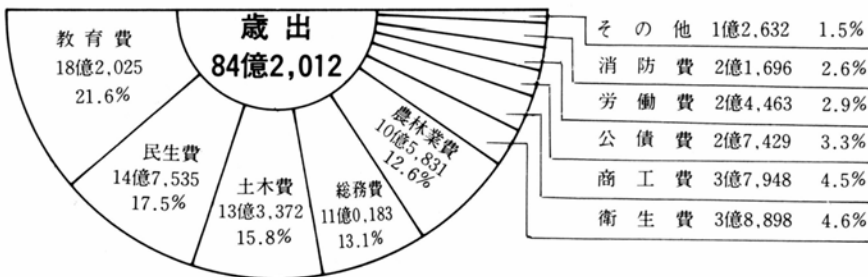
単位 万円



## 歳出

学校・保育所や勤労青少年ホームなどの公共施設の建設を積極的に行いました。前年度比でみると、14億0,418万円多い84億2,012万円となっています。教育費が50.3%も伸びたのははじめ、土木費は34.5%、農林業費は28.1%増となっています。翌年度への繰越し(黒字)は2億1,066万円となり、健全な財政を保つことが出来ました。

### 昭和55年度一般会計決算額



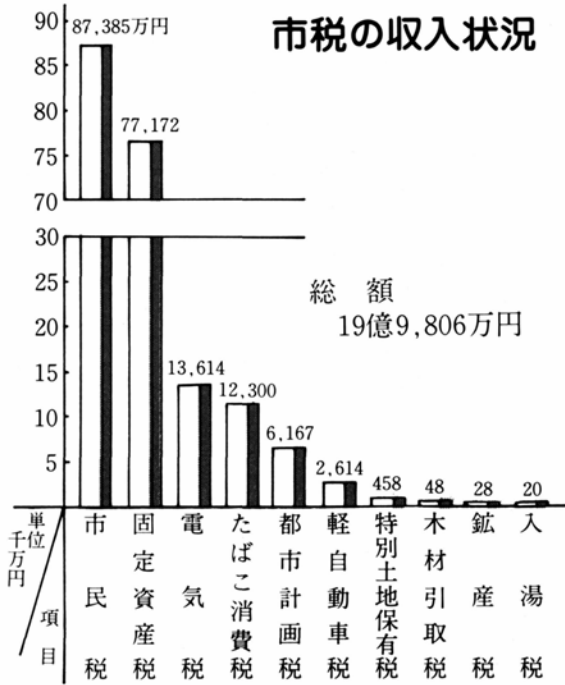
### 昭和55年度特別会計決算額

国民健康保険事業	簡易水道事業	北部土地区画整理事業	水道事業
歳入 14億 1,165万円	歳入 9,381万円	歳入 4,078万円	歳入 1億 0,765万円
歳出 13億 7,521万円	歳出 9,000万円	歳出 2,156万円	歳出 1億 0,765万円

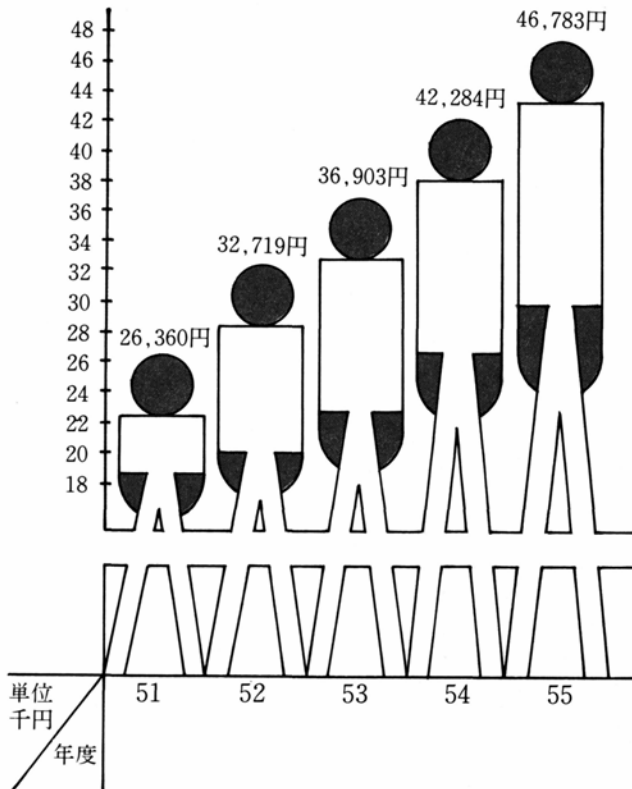


架け替えられた庵住橋（木本）

## 市税の収入状況



## 市民1人当たりの市税負担額の推移



1世帯当たり	市税負担額	1人当たり
83,654円	市民税	20,460円
73,877	固定資産税	18,069
13,033	電気税	3,188
11,775	たばこ消費税	2,880
5,903	都市計画税	1,444
2,503	軽自動車税	612
438	特別土地保有税	107
46	木材引取税	11
27	鉦産税	7
19	入湯税	5
191,275	合計	46,783

## 主な建設事業

学校建設事業	9億 9,572万円
道路・橋・河川整備事業	5億 6,181
農業基盤整備事業	3億 1,907
農業振興事業	2億 4,331
都市計画事業	1億 9,803
県営事業負担金	1億 7,461
林業基盤整備事業	1億 3,845
労働対策事業	1億 2,258
社会児童福祉施設整備事業	1億 1,518
社会教育文化財整備事業	7,912
教育施設整備事業	6,853
環境保健衛生施設整備事業	2,116
商工観光施設整備事業	1,462
造林事業	1,448
交通安全施設整備事業	1,428
災害復旧事業	910
その他	5,611
合計	31億 4,616

お待ちかね

# 夏を彩る城まつり

“おおのおどり”は8日から

いよいよお待ちかねの“おおの城まつり”が開幕です。8日(土)から16日(日)までの9日間“越前おおのおどり”を中心にいろいろな行事でまつり気分を盛り上げます。



## ④1 勝山街道

まだ京福電車が「大野・勝山間」を走っていたころ、夏休みになると町の多くの子供たちは、清滝神社の近くの赤根川で水泳をしました。

だんだん上達すると、電車に乗って中津川(横枕)で下車して真名川へ、さらには下荒井で下車して関西電力下荒井ダムの下流にある山形橋の下で泳いだものでした。

電車のレールがまくられてからは道路とバイパスが交差するところからは、レールのあとは幅約3mの歩行者と自転車専用の道が出来、国道157号線との間には花壇があって、カンナが植えられています。

昭和30年に発行された大野郡誌(続篇)には、勝山街道の夏のあの日1時間の交通量が載っています。



大勢の人でにぎわった昨年のおおのおどり(栄間通り)

奥越の夏を彩る一大納涼行事として、年々人気が高まり、昨年は冷夏にもかかわらず、延べ7万人以上の入出を記録しました。

“シッコイナ節”“大野音頭”“御前おどり”“カンコおどり”などの郷土民謡の楽しい調べが、きっとあなたを魅了することでしょう。

## 多彩な行事がいっぱい

15日の午後は、左義長ばやし保存



ますが、現在の交通量と比較してみると、大体次のようです。

トラック6台(242台)乗用車タクシー3台(232台)バス3台(7台)オートバイ1台(18台)自転車21台(37台)となっています。ふた昔ほど前は歩行者が132人だったのが今は2人、リヤカーや荷車は姿を消しました。

下荒井トンネルの入口には、赤色でくっきりと会社のマークと玉誠一貫という字が見え、出口には外灯用の電柱がぼつんと立っていました。(T生)

会・奥越ジュニアサークル・奥越太鼓保存会による“太鼓流し打ち”と“太鼓まつり”や、市内4中学校のプラスバンドによるパレード、16日には大野市民吹奏楽団による納涼演奏会や灯ろう流しなどがあります。

一方、第2回市美術展は13~15日市民会館で開かれます。越前大野城では、13~16日“置県100年遺墨展古窯展”が開かれます。

そのほか期間中には、野点茶会、絵画・書道展、柔道・剣道大会など盛りだくさんの協賛行事が各所でわれます。

詳しい内容は、各家庭へお届けする日程表のとおりです。家族おそろいで、ぜひ参加下さい。

## 学童軟式野球全国大会

### 北陸代表に有終クラブ

今年から全日本学童軟式野球大会が行われることになり、当市の少年野球チーム「有終クラブ」が出場することになりました。

同クラブはこれまでの練習の成果を十分発揮し、福井県大会で見事優勝。その後7月11日の北陸大会でも決勝戦で1-0の熱戦で勝ち、今月4日から東京の駒沢オリンピック公園硬式野球場で行われる全国大会出場権を獲得しました。

連日の練習で日焼けした選手は、みんな元気いっぱい。全国優勝へとはりきっています。

# お知らせ

## ◆21日に防災総合訓練

福井県防災総合訓練が8月21日有終東小学校グラウンドと真名川河川敷(富田大橋下流)で行われます。

地震と集中豪雨を想定した訓練が中心で、県・市をはじめ警察、消防署、陸上・航空自衛隊、日本赤十字社福井県支部、県・市医師会や各交通機関、防犯隊、区長会、婦人会など35機関と一般市民の約1,500人が参加します。

午前10時から有終東小学校グラウンドで、地震を想定した避難や救出救助・救護、ビル火災防御、初期消火などの訓練が行われます。

午前11時からは真名川河川敷で集中豪雨を想定した水難救助、電力・通信施設復旧、緊急物資空輸、水防仮設住宅建設、炊き出し、防疫などの大がかりな訓練を行います。

防災は日ごろの心掛けが大切です。この機会にとり近所さそい合わせ多数参加して、緊急のときに備えて下さい。

## ◆水遊びに注意

水遊びの楽しい季節になりましたが、この時期には悲しい水の事故が多くなります。

このため、福井県中島・真名川発

電制御所では水難事故を未然に防ぐため、次のことを呼び掛けています。

- 川水が増えているときや、台風などのときは、ダムから放流することがあるので川へ入らない。
- 普通のときでも危険な所(立入禁止の看板がある)へは絶対に入らない。
- 特に、真名川上流の五条方・佐開付近は、真名川発電所からの放水のため危険なので入らない。

## ◆障害者手帳の提示で運賃割引

先月から、身体障害者の私鉄電車運賃の割引方法が変わり、これまでのような割引券は発行しないことになりました。

代わりに、運賃支払いのときに身体障害者手帳を提示すれば、これまでどおりの割引が受けられます。

介護人の必要な1種の身体障害者の方については、手帳に検印しなければなりませんので、早めに市福祉事務所(6-1111内線 275)へお持ち下さい。

## ◆身体障害者運転技術講習会

自動車運転免許をとりたい肢体の不自由な方を対象に、特別改造車による運転技術講習会と、免許を有する障害者の限定解除技能講習会が開かれます。

期間はいずれも9月1日～10月30

## スマイル

### 「水難事故多発」

ゆっくり泳いで  
みませんか  
— カップ

日で、会場は大野自動車学校です。受講希望者は8月20日(木)までに、市福祉事務所へ申し込んで下さい。

## ◆旧軍看護婦に慰労給付金



旧陸海軍の従軍看護婦として一定の期間、戦地で勤務した人に対して慰労給付金が支給されます。

対象となるのは①昭和12年7月7日以降事変地または戦地で戦時衛生勤務し、若しくはこれに引き続いて海外で抑留・留用されていた期間が3年以上であり、旧軍人と同様の加算年を加えて12年以上に達する人②旧陸海軍看護婦が旧日赤救護看護婦として、昭和12年7月7日以降事変地または戦地に勤務していた場合はその勤務期間に旧軍人と同様の加算年を加えて、旧陸海軍看護婦の期間を合わせた期間が12年以上の人です。受給出来るのは55歳以上の人(本人死亡の場合の遺族は含まない)で慰労給付は期間によって異なりますが、年額10～30万円です。

詳しくは市福祉事務所(6-1111内線 274)へ問い合わせ下さい。

## ◆福祉年金証書の提出を

老齢・障害福祉年金は、8月11日(火)から郵便局で支払われます。今回は証書を郵便局で預かることになっていますので、早めに支給を受けて証書を提出して下さい。

## ◆狩猟免許試験会場が変更

前号でお知らせしました今月20日の狩猟免許試験会場は、都合により県民会館から県社会福祉センター(光陽2丁目)に変更となりました。間違のないようにして下さい。

## 8月の間接レントゲン

次のとおり胸部間接レントゲン撮影が行われます。ただし、会社・事業所・学校などで受診した方や妊婦の方は除きます。

月	日	曜	時 間	場 所
8 . 19	水	9 . 30～11 . 00	堂島円徳寺	
		13 . 30～15 . 00	市農協阪谷支所	
8 . 20	木	9 . 30～11 . 00	六呂師小学校前	
		13 . 30～15 . 00	木本分校前	
8 . 21	金	9 . 30～11 . 00	大野公民館	
		13 . 30～15 . 00	大野商工会議所前	

# 市民カレンダー

8月10日～24日

10月	人権相談 越前おおのおどり	13.00～16.00 19.30～22.00	上庄公民館 横町通り	行政相談	10.00～15.00	上庄公民館
11火	献血 子宮ガン検診 越前おおのおどり	10.00～15.00 13.00～14.00 19.30～22.00	越前信用金庫 有終会館 七間通り	少年相談 交通事故相談	9.00～12.00 10.00～16.00	市役所 市役所
12水	少年相談 結婚相談 子宮ガン検診	9.00～12.00 10.00～15.00 13.00～14.00	市役所 有終会館 下庄公民館	<b>中野橋が通行止め</b>  都市計画街路三番線の中野橋架け替え工事が、いよいよ今月から始まります。このため、8月10日から来年3月末日までは諸車の通行が出来なくなります。ただし、歩行者と自転車は通れます。		
13木	少年・心配ごと相談 市美術展 越前おおのおどり	9.00～12.00 9.00～16.00 19.30～22.00	市役所 市民会館 石灯ろう広場			
14金	市美術展 越前おおのおどり	9.00～16.00 19.30～22.00	市民会館 春日通り			
15土	終戦記念日 市美術展 農業結婚相談 越前おおのおどり	9.00～16.00 13.00～16.00 19.30～23.00	市民会館 有終会館 六間通り			
16日	家庭の日 満月 越前おおのおどり	19.30～23.00	六間通り	休日当番医	内科 高井医院（稲郷） 外科 松田外科医院	
17月	胃検診 人権相談 経営相談	9.00～11.00 13.00～16.00 13.00～16.00	下庄公民館 大野公民館 商工会議所	<b>今月の納税</b>  市・県民税 第2期分  8月31日までに納めて下さい。		
18火	少年相談 社会保険年金相談 1歳半児検診	9.00～12.00 10.00～15.00 13.00～14.00	市役所 織物工業組合 有終会館			
19水	レントゲン レントゲン・成人病 結婚相談	9.30～11.00 13.30～15.00 10.00～15.00	堂島円徳寺 市農協阪谷支所 有終会館			
20木	レントゲン レントゲン 無医地区診療	9.30～11.00 13.30～15.00 13.30～15.00	六呂師小学校前 木本分校 下打波集会場			
21金	レントゲン 防災総合訓練	9.30～11.00 10.00～14.00	大野公民館 有終東小・真名川	心配ごと相談 交通事故相談 行政相談	9.00～12.00 10.00～16.00 10.00～15.00	市役所 市役所 富田公民館
22土						
23日	市民軟式庭球大会	9.00～16.00	市営コート	休日当番医	内科 岩治医院 外科 石田病院	
24月						



発行 福井県大野市 編集 秘書広報課  
 (電話) ⑥11111 印刷 (株)松浦印刷

ホタルの点滅を見ないまま八月になった。おたけ山の頂上の巨大な雲がまぶしく、稲の姿もたくましくなった▼おたけ山の姿は三十六年前も今も変わらないが、あの日、日本は大東亜戦争に敗れた。あの時、年輩の方々はなにをしていただろうか、思い返してみても無意味ではなからう▼スイトン、随分お世話になった大切な食物だ。若い人たちは「スイトン？豚でも使った料理かな」ぐらいに思うかもしれないがトンでもない。スイトン、懐かしさとともにいまわしい思い出を秘めた食物ではある▼あれから日本人の持つ知恵と、たゆまぬ勤勉さにより、今や日本は経済大国にのし上がった。この繁栄を築き上げて来た人たちは、もういくつぐらいの年代になっているだろうか▼築き上げられた繁栄の中で、豊かな物質文明の中で育てられて来た人たちは幸福だ。それはそれでよい。だが資源の少ない経済大国ひとつ間違うと「裸の王様」になりかねない。物の大切さ、人と人とのつながりの大切さを、豊かさの中にあつて忘れてはならないと思う▼日本の歴史を大きく変えた敗戦。戦争を知らない人たちに、戦争を知っている人たちがその薄れいく悲惨さを「語り部」となって伝えなければならぬ▼旧盆の近づくと折、戦争で散っていった人々を思い、南十字星のきらめく南海の島に、遠く思いをはせながら、改めてこんなことを思う。

D 生